

Luxman

VACUUM TUBE INTEGRATED AMPLIFIER

LX-380

Owner's Manual

このたびは、ラックスマンの真空管プリメインアンプ LX-380 をお求めいただきまして、誠にありがとうございます。

NHK がラジオの本放送を開始した 1925 年、錦水堂ラジオ部として創業されたラックスマンは、90 余年にわたって数多くの製品をオーディオファンや音楽ファンに届けてまいりました。その間、いつの時代にあってもオーディオと音楽を愛する人たちの熱い心は変わりませんでした。

音楽に込められたアーティストの情念を余さず忠実に再現する、そのときの感動の深さと機器への愛着の深さこそがオーディオにとっての最高の価値であると私たちは考えます。

縁あってラックスマン製品をお選びいただきましたことは、オーディオと音楽に対して私たちと同じ情熱と価値観を共有できることであると、心から嬉しく思っております。

本機を正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこのオーナーズマニュアルをよくお読みください。それによって本機の性能が十分に発揮され、最高のグレードで音楽再生をお楽しみいただくことができます。お読みになった後は保証書、安全上のご注意と共に大切に保管してください。

末永くご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

目次

使用上の注意	1
本機の特徴	2
各部の名称と用途	4
接続方法	10
操作方法	14
リモコンの使用方法	15
ブロックダイアグラム	16
規格	17
修理に出される前に	18
アフターサービスと品質保証について	19

アンプの置き場所について

本機は真空管アンプのため発熱量が多いので、換気や放熱が充分行われる場所に設置してください。

特に、直射日光の当たる場所、ストーブのすぐそばなど高温になる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などに設置すると、放熱がスムーズでも、故障の原因になることがあります。このような場所への設置は避けてください。

通風孔について

天板・底板の通風孔は塞がないでください。なお、ラックなどへ設置する場合は、十分な空間を取り、扉は開放して使用し、他の機器を積み重ねたり、物を載せたりしないでください。故障の原因になります。

天板の上部は 20cm 以上の空間を空け、左右は 5cm 以上の空間を空けてください。

底板の下部には脚の高さの空間を空けてください。

併用機器との接続時の注意

本機に CD プレーヤー、スーパーオーディオ CD プレーヤー、アナログレコード・プレーヤー、チューナー、レコーダーなどの入力機器を接続するときには、本機をはじめ、すべての併用機器の電源スイッチを必ず切ってください。スピーカーを破損するほどのノイズが発生したり、場合によっては故障の原因になることがあります。本機の各入力端子に差し込むピンプラグは、しっかりと差し込んでください。アース側が浮いているとハムなどのノイズが発生し、S/N 比悪化の原因になります。

スピーカー接続時のご注意

スピーカーシステムを接続するときには、本機のスピーカー端子やスピーカーの入力端子のところ、⊕⊖ 間がショートすることのないよう十分に注意してください。ショートしたままアンプに大信号が加わると出力回路に大電流が流れ、場合によっては故障の原因になります。

電源オン後すぐには音が出ません

本機には出力回路を切り離すためのタイム・ミューティング回路が組み込まれているため、電源オン後すぐには音が出ません。

このタイム・ミューティング回路が解除されるまでに音量が上がっていると、急に大きな音が出てくることになります。ボリューム・コントロールは必ず小さく絞っておき、スピーカーから音が出はじめてから適度な音量にセットしてください。

修理・調整について

修理、調整などが必要なときは、お買い上げの販売店、もしくはお近くの弊社サービスセンターへご依頼ください。

お手入れについて

お手入れは、市販のクリーニングクロスなどの柔らかい布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で汚れを落とし、乾いた布で拭き取ってください。なお、ベンジン、シンナーなどの溶剤は、外観を損ねるため使用しないでください。

安全上のご注意

注意



本機は重いので、開梱や持ち運び、設置の際は充分にご注意ください。



本機は真空管を使用したアンプです。電源の入った状態では本体がかなり熱くなりますので、手で触れたりすることのないようお気をつけください。また小さなお子様や放し飼いにしたペットのいる場所でのご使用は安全のためお控えください。

本機の特徴

木箱ケース

伝統的な口（ろ）の字型木箱ケースを採用。

ビーム管接続・プッシュプル出力段

ビーム管接続の6L6GCによるプッシュプル構成。

フォノアンプ

専用のフォノアンプを買い足すことなく、ハイグレードなアナログレコード再生を楽しむMM/MC対応のフォノアンプを搭載。

トーン・コントロール

細かな音質調節が可能なターンオーバー周波数3段階切替のバス/トレブル式トーン・コントロール機能を採用。

LECUA — LUXMAN Electric Controlled Ultimate Attenuator

抵抗を組み合わせて減衰量を得る電子制御アッテネーターLECUAを搭載。

専用のソリッドステートICを採用し、ボリュームノブの角度に相当する音量にアッテネーターを制御することで、従来の摺動型ボリュームと同様の操作フィーリングを実現。

サブソニック、モノラル機能

アナログレコードの反りによるウーハーのふらつきを抑えるサブソニック・スイッチやモノラル再生時に便利なモノラル・スイッチを装備。

ヘッドフォン端子

深夜のリスニングに便利なヘッドフォン出力端子。

セパレート機能

パワーアンプを追加したバイアンプ構成やAVシステムとの共存も可能にする、プリ/パワー分離機能。

※プリアウト（PRE OUT）端子については、セパレート・スイッチのオン/オフにかかわらず出力されます。

セレクター・スイッチ IC

フラグシップ・コントロールアンプC-900uにも採用された、セパレーションとクロストーク性能を高める高音質セレクター・スイッチIC。

レコーダー用入出力

テープデッキなどを接続可能なレコーダー用入出力端子を1系統装備。

高音質リレー

信号切替は耐久性に優れたオーディオ専用リレーによる高信頼設計。

アルミ削り出しツマミ

往年のデザインを復刻した重厚感あふれるアルミ削り出しツマミを採用。

18mm ピッチ RCA 端子

大型のプラグを装着した高音質ケーブルにも対応する、18mm ピッチの RCA 入力端子（全 RCA 端子）。

大型スピーカー端子

極太のスピーカーケーブルも装着しやすく、Y ラグやバナナ端子に対応した A、B 2 系統のスピーカー端子。

リモコン

リスニングポジションからの音量操作を可能にするアルミ製リモコンを付属。

電源ケーブル

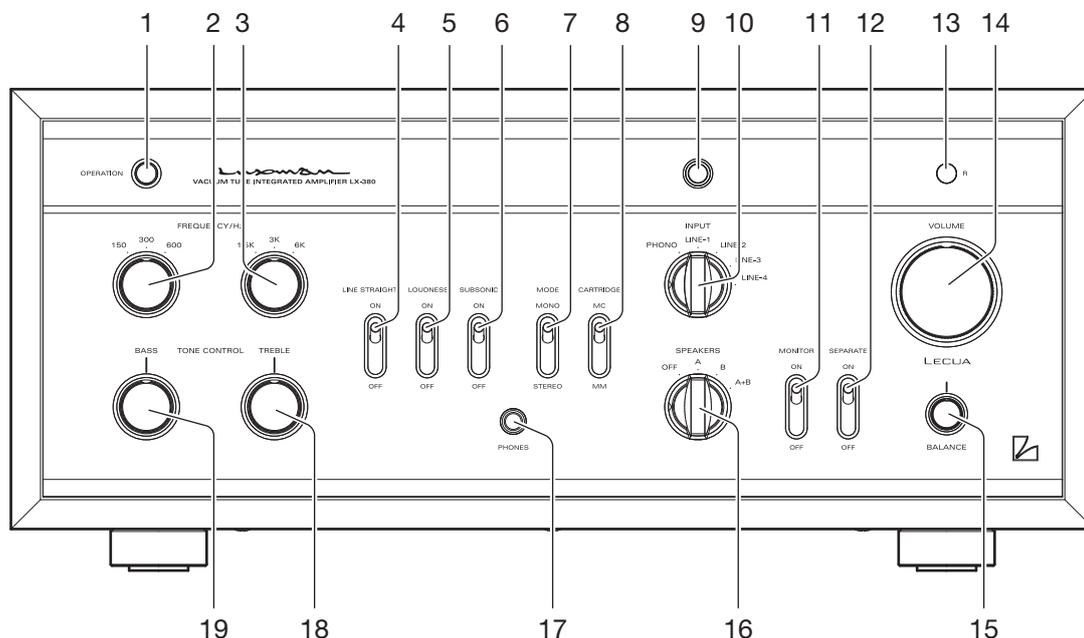
OFC 極太線ノンツイスト構造のラックスマン純正電源ケーブルを付属。（極性表示付）

高信頼設計

真空管の動作条件に余裕を持たせた長寿命、高信頼性設計を採用。

各部の名称と用途

本体正面



1. オペレーション・スイッチ (OPERATION)

電源をオン/オフするスイッチです。

配線、接続時には必ずこのスイッチをオフにしてください。オフにしてから、再度オンにするときは1分以上時間を置いてください。

2. ターンオーバー周波数 (低域) 切替スイッチ (FREQUENCY/Hz)

低域用トーン・コントロールのターンオーバー周波数を150Hz、300Hz、600Hzに切り替えるスイッチです。例えばこのスイッチを150に合わせると150Hz以下の周波数を低域用トーン・コントロール (BASS) で変化させることができます。

3. ターンオーバー周波数 (高域) 切替スイッチ (FREQUENCY/Hz)

高域用トーン・コントロールのターンオーバー周波数を1.5kHz、3kHz、6kHzに切り替えるスイッチです。例えばこのスイッチを1.5Kに合わせると1.5kHz以上の周波数を高域用トーン・コントロール (TREBLE) で変化させることができます。

4. ライン・ストレート・スイッチ (LINE STRAIGHT)

バランス・コントロールやトーン・コントロール回路などをバイパス (飛び越し) することによって音質の純度をより高めるためのスイッチです。

OFF: ライン・ストレート・オフ/バイパス・オフ

ON: ライン・ストレート・オン/バイパス・オン

ライン・ストレート・スイッチがオンのときには、バランス・コントロール、トーン・コントロール、サブソニック、モノラル、ラウドネスは調節できません。

5. ラウドネス・スイッチ (LOUDNESS)

OFF: 通常の状態です。

ON: 音量が小さい時に低音と高音が聞こえにくくなる人間の耳の特性を補正します。

※ライン・ストレートがオンのときには、オフになり動作しません。

6. サブソニック・スイッチ (SUBSONIC)

超低音域をカットするスイッチです。

OFF： 通常の状態です。

ON： 可聴帯域外の超低域をカットし、超低域ノイズが可聴帯域内へ悪影響を及ぼすことを防ぎます。

アナログレコードに大きな反りがあったり超低域の振動によりウーハーがゆれたりするときに大変有効です。

※ライン・ストレートがオンのときには、オフになり動作しません。

7. モード・スイッチ (MODE)

出力モードの切り替えスイッチです。

MONO： 左右チャンネルの信号がミックスされ、モノラル再生をします。

STEREO： 通常のスtereo再生をします。

8. カートリッジ・セレクター (CARTRIDGE)

イコライザー・アンプ（アナログレコードを再生するときに必要なアンプ回路）のゲイン（利得）を切り替えるスイッチです。

MC： 出力電圧が低いMC（ムービング・コイル）型カートリッジを選択します。

MM型カートリッジを使用中に“MC”にすると、音量が大きくなり、インピーダンスの関係で高域が出ないバランスのくずれた音になりますのでご注意ください。

MM： 高出力電圧のMM（ムービング・マグネット）型カートリッジを選択します。

9. パイロットランプ

オペレーション・スイッチをオンにするとタイム・ミュート中は点滅しその後動作状態になると点灯します。また、ミュート中やリモコンで音量調節をしたときは点滅します。

10. インプット・セレクター (INPUT)

CD/スーパーオーディオCDプレーヤー、チューナーなど各入力端子に接続した入力機器を選択するためのスイッチです。

PHONO、LINE-1、LINE-2、LINE-3、LINE-4の5つの位置があり、それぞれリアパネルの入力端子と対応しています。再生したい入力系統の位置に合わせて、入力を選択します。

11. モニター・スイッチ (MONITOR)

リアパネルのモニター入力端子 (MONITOR) を選択するスイッチです。オン (ON) の状態で、レコーダーの再生ができるようになります。オフ (OFF) の状態で、インプット・セレクターで選択したソースからの再生ができます。

12. セパレート・スイッチ (SEPARATE)

このスイッチは、プリ・アンプ部とメイン・アンプ部を分離します。

OFF： 通常のプリ・メイン・アンプとして使用する場合は、この位置にします。

ON： 外部からの信号をリアパネルの MAIN IN 端子からメイン・アンプ部に送りこむことができます。

セパレート・スイッチがオン (ON) のときは、本機のボリューム・コントロールで、接続されたスピーカーの音量調節はできません。音量の調節は、メインイン (MAIN IN) 端子に接続したコントロールアンプなどの入力機器側で行ってください。

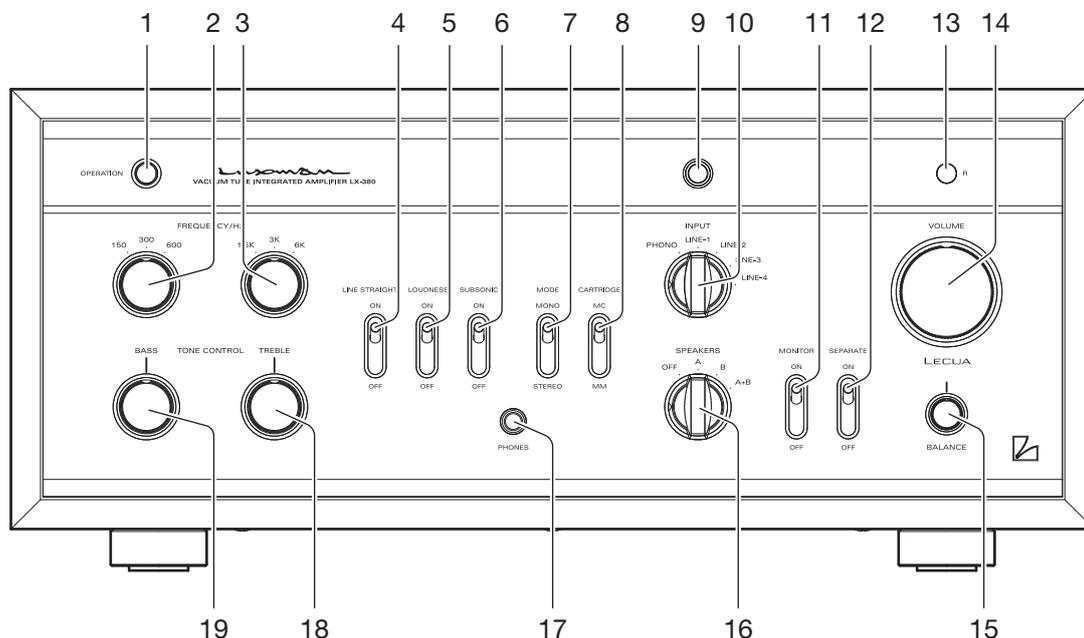
また、CDプレーヤーなどの音量調節の機能しないダイレクト出力をメインイン (MAIN IN) 端子に入力すると、常にフルパワー状態となり、スピーカーを破壊するおそれがあります。

これらの入力機器は、必ず音量調節機能のあるコントロールアンプなどを中継し、音量を絞った状態で、スピーカーから音が出てから、お好みの音量になるよう調節してください。配線の変更を行う場合は必ず電源をオフにしてから行ってください。

※プリアウト (PRE OUT) 端子については、セパレート・スイッチのオン / オフにかかわらず常に出力しています。

各部の名称と用途

本体正面



13. リモコン受光部 (R)

付属のリモコンからの信号を受信するためのセンサーです。センサーの前は塞がないようにしてください。

14. ボリューム・コントロール (VOLUME)

音量を調節するためのつまみです。
左側へ回し切った位置では音が出ず、右に回してゆくとミュート→-87dB→-86dB→……→0dBと1dBステップで音量が大きくなります。
付属のリモコンでも回転し、調節できます。

15. バランス・コントロール (BALANCE)

左右チャンネル間の音量バランスを調節するためのつまみです。
左に回せば音量のバランスが左に片寄り、右に回せば音量のバランスが右に片寄ります。
通常は中央位置で使用し、必要に応じて調節してください。
なお、ライン・ストレート・スイッチがオンの状態では調節できません。

16. スピーカー・セレクター (SPEAKERS)

リアパネルのスピーカー端子A、Bに2系統のスピーカーを接続することができ、それらを選択するためのスイッチです。

- OFF: スピーカーから音を出さずに、ヘッドフォンで聴く場合、この位置にします。
- A: A系統のスピーカー端子を選択します。
- B: B系統のスピーカー端子を選択します。
- A+B: A系統、B系統に接続したスピーカーを同時に鳴らすことができます。両方の出力端子は、並列接続になっていますので同時に鳴らすときは、A系統、B系統それぞれのスピーカーインピーダンスが8Ω以上のスピーカーを接続してください。

17. ヘッドフォン・ジャック (PHONES)

ステレオ・ヘッドフォンで聴くときに、この出力ジャックにヘッドフォンのプラグを差し込んでください。プラグを差し込んでもスピーカー出力端子への信号は切れません。したがって、ヘッドフォンだけで聴くときは、スピーカー・セレクターをオフにしてください。

18. 高域用トーン・コントロール

TONE CONTROL (TREBLE)

3. で選択した周波数以上の高音域を変化させるためのレベル・コントロールです。

中央位置でフラットな周波数特性になり、これより右に回せば高音域が増強し、左に回せば減衰します。

なお、ライン・ストレート・スイッチがオンの状態では調節できません。

19. 低域用トーン・コントロール

TONE CONTROL (BASS)

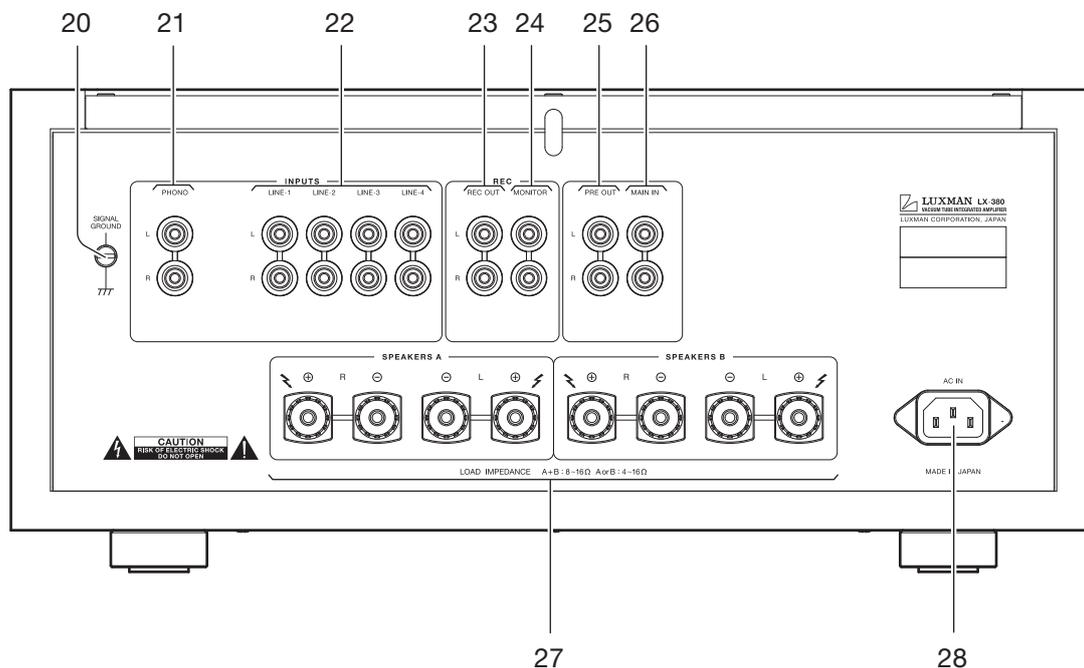
2. で選択した周波数以下の低音域を変化させるためのレベル・コントロールです。

中央位置でフラットな周波数特性になり、これより右に回せば低音域が増強し、左に回せば減衰します。

なお、ライン・ストレート・スイッチがオンの状態では調節できません。

各部の名称と用途

本体後面



20. シグナル・グラウンド端子 (SIGNAL GROUND)

本機に接続する機器のアース用端子です。この端子は他の機器を接続した場合の雑音の低減をはかるためのもので、アナログレコード・プレーヤーやトーンアームと接続します。安全のためのアースではありません。

21. フォノ入力端子 (PHONO)

アナログレコード・プレーヤーやトーンアームから出力される RCA ピンケーブルの入力端子です。アナログレコード・プレーヤーによってはフォノイコライザーアンプ内蔵のものがあります。この場合はプレーヤー側のイコライザーアンプをオフにしてご使用ください。

この端子に CD プレーヤー等、出力の大きい機器を接続しないでください。音割れが生じ正常な再生ができません。

※出荷時には雑音を防止するショート・ピン・プラグが挿入されています。使用する場合はショート・ピン・プラグを外してご使用ください。

また、外したショート・ピン・プラグを録音出力端子 (REC OUT) およびプリアウト端子 (PRE OUT) に挿入しないでください。音声が出力されなくなります。

22. ライン入力端子

(LINE-1、LINE-2、LINE-3、LINE-4)

CD/DVD プレーヤー、スーパーオーディオ CD プレーヤー、チューナー、ビデオデッキ、TV 音声などのハイレベル信号入力のための端子です。これらの入力端子はすべて同じ働きをします。

23. 録音出力端子 (REC OUT)

レコーダーの録音用入力端子と接続するための端子です。レコーダーのライン入力端子に接続します。この端子にはインプット・セレクターで選択された入力信号が出力されます。

この端子にショート・ピン・プラグを挿入しないでください。音声が出られなくなります。

24. モニター入力端子 (MONITOR)

レコーダーの再生用出力端子と接続するための端子です。レコーダーのライン出力端子に接続します。この端子はモニター・スイッチをオンにするとインプット・セレクターの位置に関係なく、選択されます。

25. プリアウト端子 (PRE OUT)

プリ・アンプ部の出力を取り出すときに使います。
この端子は、セパレート・スイッチのオン/オフにかかわらず、常に出力していますので、外部のパワーアンプと組み合わせてバイ・アンプ接続を行うことができます。

プリアウト端子にショート・ピン・プラグを挿さないでください。音が出なくなります。

28.AC インレット (AC IN)

付属の電源ケーブルを接続します。電源は AC100V 家庭用コンセントをご使用ください。

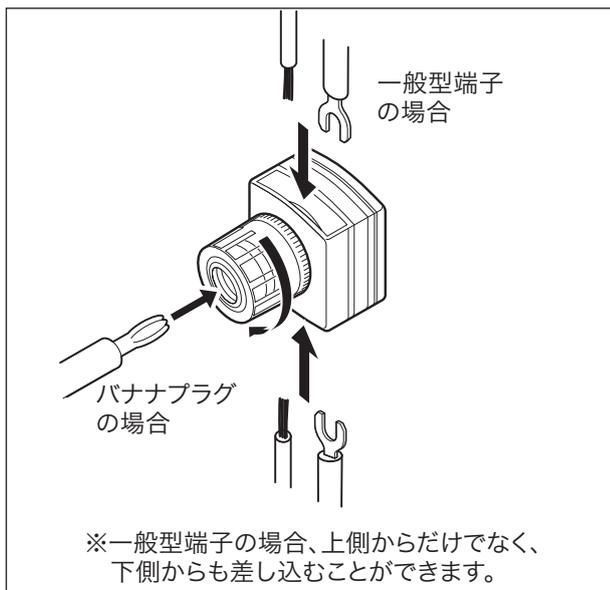
26. メインイン端子 (MAIN IN)

セパレート・スイッチをオンにすることでプリ部、メイン部を分離して、この端子から直接メイン・アンプ部に入力することができます。

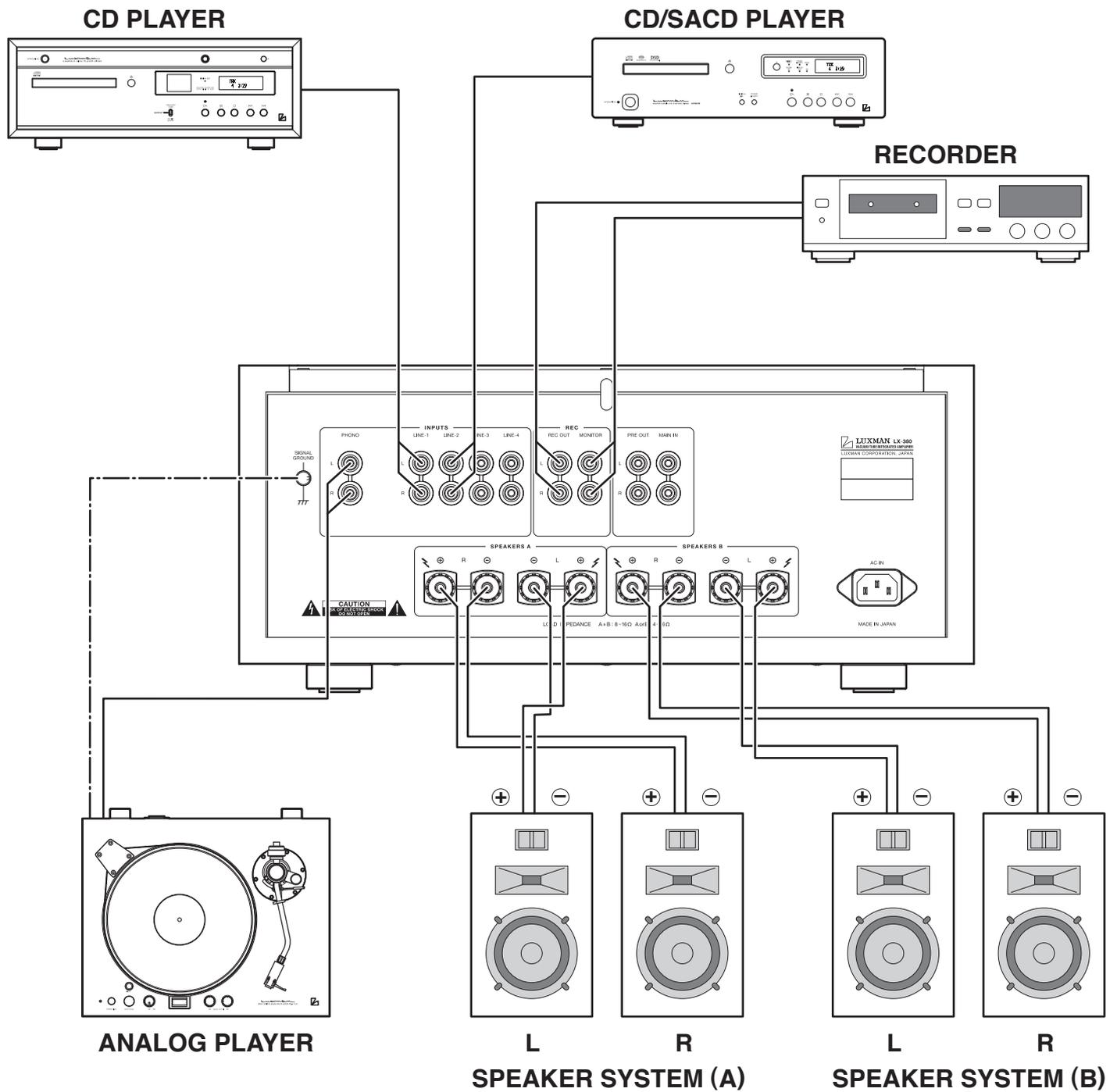
※音量調節はできません。音量調節は入力機器側で行ってください。

27. スピーカー端子 (SPEAKERS)

この端子にスピーカーシステムを接続します。
RIGHT 側には右スピーカーの端子を、LEFT 側には左スピーカーの端子を、極性を合わせて接続してください。



接続方法



接続する前に

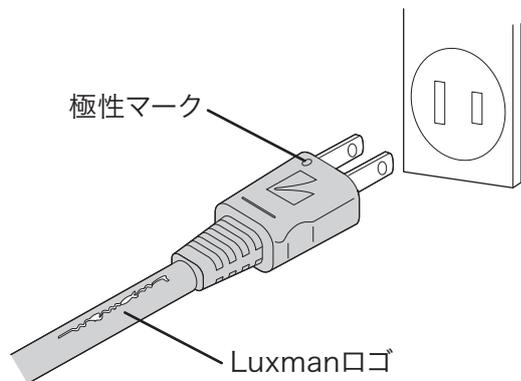
他の機器を接続する前に、付属の電源ケーブルのジャック部（穴が3つある方）を本機の AC インレットに接続してください。

接続するときは、思わぬノイズの発生による事故を防止するため、本機の電源と併用機器の電源をすべてオフにしてください。

電源の接続

付属の電源ケーブルを使用し、AC プラグをリスニングルームなどにある AC100V のコンセントに差し込んでください。プラグにある極性マークがコンセントに向かって左側になるように（ケーブルの Luxman ロゴが見えるように）AC プラグを差し込むと、電源極性が正しく設定されます。

一般的に AC コンセントは、向かって左側の若干長い穴が接地用端子（W 表記）になっています。



CD プレーヤー、スーパーオーディオ CD プレーヤー、D/A コンバーター、チューナーなどの接続

CD プレーヤー、スーパーオーディオ CD プレーヤー、D/A コンバーター、チューナー等の入力機器の OUTPUT 端子（出力端子）と、本機の LINE-1 入力端子間を L、R 2本のピンケーブルまたは、バランスケーブルで接続してください。

LINE-2、LINE-3、LINE-4 の入力端子も LINE-1 と同様の接続をすることで LINE-1 入力端子と同等の再生をすることができます。

スピーカーの接続

本機の L 端子に左チャンネル用のスピーカーを、R 端子に右チャンネル用のスピーカーを接続してください。

スピーカーシステムの ⊕ 端子を本機のスピーカー端子の赤（⊕ 側）端子に、スピーカーシステムの ⊖ 端子を本機のスピーカー端子の黒（⊖ 側）端子に、確実に接続してください。

このとき、左右スピーカーシステムの（どちらか一方の）⊕ 端子、⊖ 端子を逆に接続すると、左右のスピーカーシステムから再生される音波の位相が逆になり、低音が減少したり、音の定位が悪くなるなど、正常なステレオ再生ができなくなりますので、十分に注意してください。

アナログレコード・プレーヤーの接続

アナログレコード・プレーヤーの出力端子と本機の PHONO 端子間を L, R 2本のピンケーブルで接続します。プレーヤーによってはフォノモーターやトーンアームからのアース線を本機のアース端子に接続します。本機のフォノイコライザー部は MM, MC カートリッジ用に対応しています。出力電圧の低い MC カートリッジなどをお使いになる場合には、フロントパネルのカートリッジ・セレクターを MC ポジションにしてお使いください。

フォノイコライザー付のアナログレコード・プレーヤーまたは、単体のフォノイコライザーの出力は、本機の LINE 入力端子に接続してください。

レコーダーの接続

1. モニター端子への接続（再生）

レコーダーに付いているライン出力端子（LINE OUT）と本機のモニター端子に L, R を間違えないようピンケーブルで接続します。これでモニター・スイッチをオンにするとテープ・レコーダーなどの再生が行えます。

2. REC OUT 端子への接続（録音）

本機の PHONO 端子、LINE 端子などに接続された、いろいろな入力機器のソースを再生するとき、その信号は REC OUT 端子に供給されます。レコーダーに録音するときには、本機の REC OUT 端子とレコーダーのライン入力端子（LINE IN）をピンケーブルで接続します。これでスピーカーシステムから再生される音を楽しみながら、同時に録音できます。なお、これらの録音用出力信号は、コントロール機能（ボリューム・コントロール、トーン・コントロール機能など）の影響は受けません。

録音したい入力ソースを切り替える必要がないとき、特に REC OUT 端子に接続したレコーダーの録音中は、インプット・セレクターを操作しないようご注意ください。

REC OUT 端子にショート・ピン・プラグを挿さないでください。音が出なくなります。

CDレコーダー、テープ・レコーダー等で電源オフ時にレコーダーのライン・イン端子のインピーダンスが極端に下がるものやショートされる機器を接続すると再生音が小さくなったり、出なくなる事がありますのでご注意ください。

PRE OUT / MAIN IN 端子の接続

本機ではプリ部のみ、またはメイン部のみを分離して使用することができます。

プリ部、メイン部を分離して使用する場合は、フロントパネルのセパレート・スイッチをオンにしてください。プリ部のみを使用するときには本機の PRE OUT 端子をほかのパワーアンプの入力端子に、メイン部のみを使用するときには、本機の MAIN IN 端子をほかのコントロールアンプの出力端子にそれぞれ接続します。

プリ・メインを分離しない場合は、フロントパネルのセパレート・スイッチをオフにしないと音が出ません。

PRE OUT 端子にショート・ピン・プラグを挿さないでください。音が出なくなります。

PRE OUT 端子については、フロントパネルのセパレート・スイッチのオン/オフにかかわらず常に出力しています。

操作方法

操作する前に

1. 接続が確実に行われているか確認してください。(L、R や ⊕、⊖ の接続に誤りがあると正常な再生ができません。)
2. 電源オン／オフ時やインプット・セレクターを切り替えるときは、ボリューム・コントロールを最小にしてから行ってください。

再生の手順

1. ボリューム・コントロールの音量が下がっていることを確認し、オペレーション・スイッチを押してオンにします。
2. 再生するソースをインプット・セレクターまたはモニター・スイッチで選択します。
3. 音量をボリューム・コントロールで調節します。
4. 再生するソースに応じてライン・ストレート・スイッチ、バランス・コントロール、トーン・コントロールを操作します。

ライン・ストレート・スイッチの操作

インプット・セレクターで選んだソースの純度を高めるため、最短の信号経路で再生するとき使用します。このスイッチがオンのときは、バランス・コントロールとトーン・コントロールとモノラルとラウドネスとサブソニックはバイパスされます。

バランス・コントロールの操作

左右チャンネル間の音量バランスを調節することができます。

左右チャンネル間の音量バランスの調節が不要なときは、中央位置で使用します。

ライン・ストレート・スイッチがオンのとき、このバランス・コントロールは働きません。

トーン・コントロール機能の操作

本機のトーン・コントロール機能には、低域用と高域用とがあります。

低域用は、ターンオーバー周波数（低域用 FREQUENCY/Hz）切替スイッチで選んだ周波数以下の低音域を変化させるものです。

中央位置でフラットな周波数特性となるように設定されており、この位置より右に回すと低音域が増強し、左に回せば減衰します。

高域用は、ターンオーバー周波数（高域用 FREQUENCY/Hz）切替スイッチで選んだ周波数以上の高音域を変化させるものです。

低域用と同様に、中央位置でフラット、右に回すと高音域が増強し、左に回すと減衰します。

なお、低域用も高域用も左右チャンネルが連動して働きます。

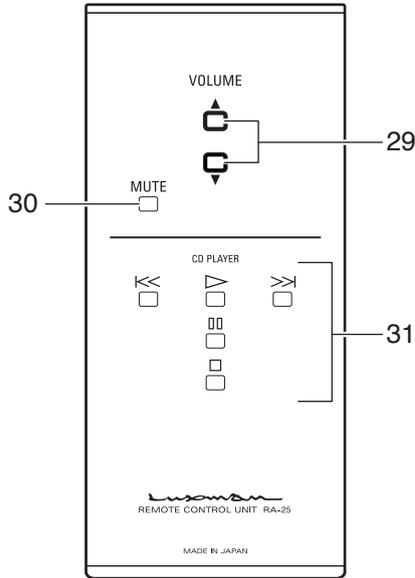
ライン・ストレート・スイッチがオンのとき、このトーン・コントロールは働きません。

ソースの録音

1. 録音するソースをインプット・セレクターで選択します。
2. 録音機器のレコーディング・スイッチを録音スタンバイ状態にします。
3. 録音するソースを再生して、レコーダーを録音状態にします。

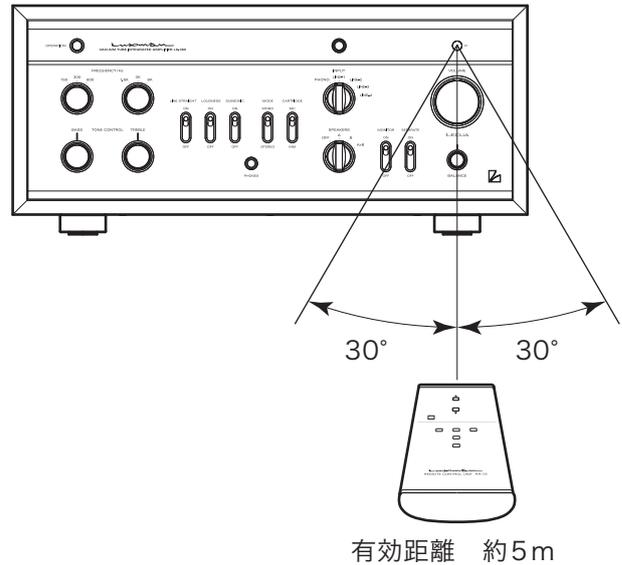
※ ボリューム・コントロール、トーン・コントロール、バランス・コントロールを操作しても、録音中の信号に影響はありません。

リモートコントローラー (RA-25)



リモコンについて

リモコンは、本機のリモコン受光部へ向けて、図の範囲でお使いください。



29.ボリューム (VOLUME, ▲, ▼)

音量を調節するためのスイッチです。▼で音量を小さく、▲で音量を大きくします。

本体のボリューム・コントロールが回転します。

30.ミュート (MUTE)

一時的に消音するためのスイッチです。このスイッチを押してミュート状態にすると本体のパイロット・ランプが点滅し、音声がなくなります。再び押してミュートが解除されると音声が出ます。

31. CD/SACD プレーヤー操作スイッチ (CD/SACD PLAYER)

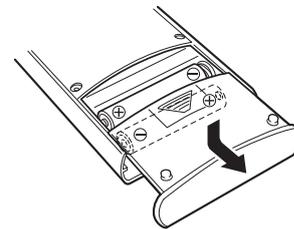
対応した CD/SACD プレーヤーの操作をするためのスイッチです。

対応している CD/SACD プレーヤーは 2016 年 10 月現在 D-380、D-08 u、D-06 u、D-05 u、D-08、D-06、D-05、D-10、D-7、D-600、D-700S の 11 機種です。

乾電池について

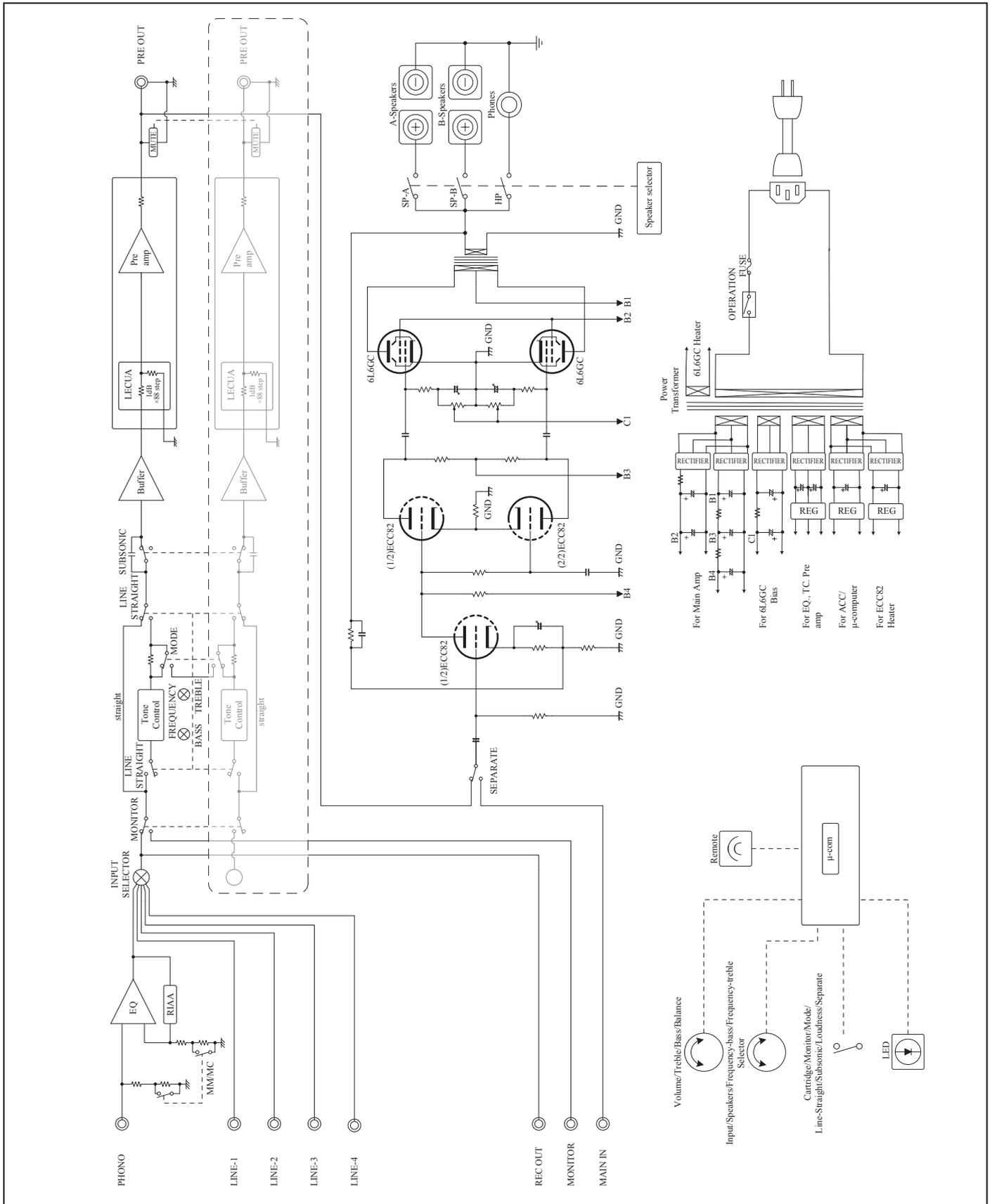
【乾電池の入れ方】

1. リモコンの裏面にあるバッテリー・カバーのツメに指を乗せて、押しながらバッテリー・カバーを下へスライドして開きます。
2. バッテリー・ケースの中の図と同じように付属の単 4 乾電池を入れます。
3. バッテリー・カバーを閉じます。



※乾電池が消耗してくると、有効距離が短くなったり、スイッチを押しても動作しません。このようなときは、乾電池を2本とも新しいものに交換してください。
※長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。

ブロックダイアグラム



規格

連続実効出力	20 W + 20 W (6 Ω)	
全高調波歪率	1 % 以下 (1 kHz, 20 W / 6 Ω, ステレオ時, LINE STRAIGHT "ON")	
プリ部 入力感度/入力インピーダンス (PRE OUT : 1 V)	PHONO (MM)	: 3.0 mV / 47 kΩ
	PHONO (MC)	: 0.38 mV / 100 Ω
	LINE	: 180 mV / 47 kΩ
	MONITOR	: 180 mV / 47 kΩ
メイン部 入力感度/入力インピーダンス	MAIN IN	: 690 mV / 100 kΩ
出力電圧	REC OUT	: 180 mV
	PRE OUT	: 1 V
S / N 比	PHONO (MM)	: 84 dB 以上 (PRE OUT, IHF-A 補正, 3.0 mV 入力)
	PHONO (MC)	: 67 dB 以上 (PRE OUT, IHF-A 補正, 0.38 mV 入力)
	LINE	: 95 dB 以上 (IHF-A 補正, 入力ショート, LINE STRAIGHT "ON")
周波数特性	PHONO (MM)	: 20 Hz ~ 20,000 Hz (± 0.5 dB 以内, LINE STRAIGHT "ON")
	PHONO (MC)	: 20 Hz ~ 20,000 Hz (± 0.5dB 以内, LINE STRAIGHT "ON")
	LINE	: 20 Hz ~ 80,000 Hz (-3 dB 以内, LINE STRAIGHT "ON")
トーン・コントロール	BASS (150 Hz)	: ± 8.0 dB at 20 Hz
	BASS (300 Hz)	: ± 8.0 dB at 40 Hz
	BASS (600 Hz)	: ± 8.0 dB at 100 Hz
	TREBLE (1.5 kHz)	: ± 8.0 dB at 10 kHz
	TREBLE (3 kHz)	: ± 8.0 dB at 20 kHz
	TREBLE (6 kHz)	: ± 8.0 dB at 40 kHz
付属機能	[フロントパネル] ・オペレーション・スイッチ ・ボリューム・コントロール ・インプット・セレクター ・バランス・コントロール ・モニター・スイッチ ・ターンオーバー周波数切替スイッチ ・トーン・コントロール ・カートリッジ・セレクター (MM / MC) ・セパレート・スイッチ ・ライン・ストレート・スイッチ ・サブソニック・スイッチ ・モード・スイッチ ・ラウドネス・スイッチ ・スピーカー・セレクター (OFF / A / B / A+B) ・ヘッドフォン・ジャック [リアパネル] ・入出力端子 ・スピーカー端子 ・シグナル・グラウンド端子 ・AC インレット [リモコン機能] ・ボリューム (アップ / ダウン) ・ミュート	
回路方式	ドライバー：ムラード回路、出力：ビーム管接続	
使用真空管	6L6GC × 4 本、ECC82 × 3 本	
付属品	・リモートコントローラー RA-25 ・電源ケーブル ・取扱説明書 (本書) ・保証書 ・安全上のご注意 ・単 4 乾電池 × 2 ・プレミアム延長保証登録申請書	
電源電圧	AC 100V (50/60 Hz)	
消費電力	116W (電気用品安全法による規定)	
最大外形寸法	440 (W) × 197 (H) × 403 (D) mm (奥行きは前面ノブ 25 mm、背面端子 28 mm を含む)	
重量	17.6 kg (本体)	

※規格および外観は予告なく変更することがあります。

修理に出される前に

ご使用中に、何らかの原因で故障と間違えることがあります。修理に出される前に下記の表、および併用機器の取扱説明書をご覧のうえ、ひと通り確認してください。故障の原因がわからない場合は、お買い上げの販売店、もしくは弊社サービス・センターへお問い合わせください。なお、修理の依頼をお受けした場合は、故障でなくても点検代、出張費などをいただくことがあります。

症 状	原 因	対 策
電源スイッチを押しても電源が入らない。	・電源プラグがコンセントから外れているか、確実に差し込まれていない。	・電源プラグをコンセントへ確実に差し込む。
	・電源ジャックが AC インレットから外れているか、確実に差し込まれていない。	・電源ジャックを AC インレットへ確実に差し込む。
電源は入るが音が出ない。 (左右チャンネル共)	・REC OUT、もしくは PRE OUT にショート・ピン・プラグが挿さっている。	・ショート・ピン・プラグを外す。
	・ボリュームがミュートになっている。	・ミュートを解除する。
	・インプット・セレクター、モニター・スイッチが再生するソースの位置にセットされていない。	・インプット・セレクター、モニター・スイッチを再生するソースの位置にセットする。
	・接続ケーブルの接続が不完全。	・接続ケーブルを確実に接続する。
	・再生機器の出力レベルが最小になっている。	・出力レベルを調節する。
片側だけ音が出ない。	・接続ケーブルの片側だけが接続されていない。	・接続を確実に行う。
ハム音（ブーン、またはジーというノイズ）が出る。	・ピンケーブルのアース側が端子に接触していない。	・ピンケーブルのアース側が接触するように確実に接続する。
	・レコード・プレーヤーのアース線が接続されていない。	・レコード・プレーヤーのアース線をシグナル・グラウンド端子に接続する。
	・レコード・プレーヤーのカートリッジとシェル、またはシェルとトーンアームの接続・取り付けが不完全。	・カートリッジ、シェル、トーンアームを確実に接続（取り付け）する。
	・接続ケーブルと電源ケーブルが接近しすぎている。	・接続ケーブルと電源ケーブルを離す。
	・他機器の電源トランスから誘導をノイズを受けている。	・他機器から離して設置する。
トーン・コントロール、バランス・コントロールの効果が現れない。	・ライン・ストレート・スイッチがオンになっている。	・トーン・コントロール、バランス・コントロールなどを使用するときは、ライン・ストレート・スイッチをオフにする。
サブソニック、モノラル、ラウドネス機能が効かない。	・ライン・ストレート・スイッチがオンになっている。	・サブソニック、モノラル、ラウドネス機能を使用するときは、ライン・ストレート・スイッチをオフにする。

ラックスマンのオーディオ製品には、個々のパーツの選択から製造工程、出荷にいたるまで、数多くの厳しいチェックを施し、万全の品質管理を期していますが、万一本機が故障したときは弊社サービス・センターまたはご購入店までご連絡ください。状況に応じた修理をさせていただきます。

本機の保証期間はご購入日より起算して標準2年間（ただし真空管などの消耗品は1年間）、または、プレミアム延長保証適用の場合3年間（ただし真空管は1年間）です。

標準2年間の保証書およびプレミアム延長保証登録申請書は本機のパッキングケース内に入っています。

プレミアム延長保証適用条件

弊社正規取扱店での購入証明（領収書やレシートの複写）を貼り付けたプレミアム延長保証登録申請書を弊社宛てにご返送ください。
※正規取扱店につきましては、弊社ホームページをご覧くださいか、弊社営業部までお問い合わせください。

- プレミアム延長保証制度では、製品に同梱される保証書による標準2年間の保証に加え、下記に分類する製品の種類により、保証期間を延長いたします。保証期間につきましては、後日お届けいたします「クラブ・ラックスマン」カードに記載されます。「クラブ・ラックスマン」カードはプレミアム延長保証適用の保証書となります。
- 製品別プレミアム延長保証期間
プラス5年（計7年間保証）：トランジスターアンプ、D/Aコンバーター
プラス1年（計3年間保証）：真空管アンプ、CD/SACDプレーヤー、アナログプレーヤー
（現保証期間が5年間の製品は7年間、真空管等の消耗品は1年間となります。）
- プレミアム延長保証が適用とならない場合は、標準の2年間保証となり、修理の際は、製品に同梱される保証書と購入証明が必要となりますので、大切に保管してください。プレミアム延長保証が適用とならない場合は以下のとおりです。
 - ・ご購入店が弊社正規取扱店でない場合
 - ・「プレミアム延長保証登録申請書」のご送付が無い場合
 - ・弊社正規取扱店の購入証明が無い場合
 - ・購入証明の日付が弊社出荷日と著しく異なる場合（プレミアム延長保証登録をせず転売された場合等）

保証規約

製品は厳密な品質管理及び検査を経て出荷されておりますが、万一の自然故障の際には、ご購入店もしくは弊社サービスセンターまでお問い合わせください。保証の条件は以下記載のとおりです。

- 万一の自然故障につきましてはご購入日より保証書または「クラブ・ラックスマン」カード表面記載の保証期間無償修理いたします。（ただし真空管等の消耗品は1年間）
- 保証書およびご購入日を証明する領収書等または「クラブ・ラックスマン」カードのご提示がない場合、また保証期間外の修理の場合は有償にて承ります。
- 保証期間内であっても次の様な場合は保証対象外となり、修理は有償にて承ります。
 - ・保証書およびご購入日を証明する領収書等または「クラブ・ラックスマン」カードのご提示がない場合
 - ・使用上の誤り、改造、業務目的または海外でのご使用による故障、損傷
 - ・本製品以外（電源等）の原因による故障
 - ・火災、地震、水害、落雷およびその他の天変地変等による故障または損傷
 - ・オーバーホールおよび動作チェック等の点検作業
- 修理料金につきましては、予告なく変更することがあります。
- 本保証書および保証制度は日本国内のみ有効であり、海外でのご使用時には適用されませんので、ご注意ください。
This warranty is valid only in Japan.
- 保証書および「クラブ・ラックスマン」カードの紛失、盗難等による再発行は、原則としていたしませんので、大切に保管してください。また、保証書およびカードの不正な使用、改造の場合、保証効力が失効する場合がありますのでご注意ください。
- 修理品につきましては、ご購入店にご相談いただくか、直接弊社宛てにご送付ください。製品の梱装箱等はできるだけ保管いただきますようお願いいたします。
- プレミアム延長保証期間中の修理品輸送費につきましてはお客様負担となります。
- 修理品をご送付いただく場合は、輸送中の破損等の事故が無いようにご注意ください。弊社では輸送中の事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 修理のご依頼、お問い合わせにつきましては、別紙のサービス情報をご覧ください。

